琉球新報
2011(平成23)年8月10日水曜日 26面【社会】掲載

アジア各国と県内外から参加した高校生たち
＝９日、名護市の万国津梁館

「交流し、視野広げたい」

アジアユース人材育成 48人参加し開講

読んで学べるNIE

【名護】アジア各国と県内外の高校生が環境問題について学ぶ県の「アジアユース人材育成プログラム」の開会式が９日、名護市の万国津梁館で開かれた。こととしはカンボジアや中国などアジア13カ国から26人、県内から11人、県外から11人の計48人が参加した。23日まで続く。

参加者は、県内外の研究者などから水を中心とした環境問題の講義を受け、グループで議論を重ねて成果を発表する。

開会式で、昭和薬科大付属高校２年の河間美智さんは、「世界にはいろんな考え方を持った人がいるので、プログラムを通して視野を広げたい」と抱負を語った。平田大一県文化観光スポーツ部長は仲井真弘多知事のあいさつを代読し「プログラムをやり遂げた経験は大きな自信となり、国境を超えた友情はかけがえのない宝物になる」と激励した。